

**写真： 現地での様子**

この度、消防車 7 台をラオス人民民主共和国へ寄贈いたしました。車両は日本の自治体(横須賀市、木更津市、逗子市、比企広域市町村圏組合)より無償で譲渡頂き、その車両整備・輸送はラオス政府の予算により行われました、寄贈式は 2013 年 9 月 6 日に治安維持省前庭にて盛大にとりおこなわれ、ラオス側からはシンタヴォン・サイニャポーン副大臣、日本側からは横田順子日本国大使が出席され、両国の友好・協力を祝す盛大な寄贈式となりました。

<p>1 寄贈式に先立ち、日本外交協会(寺田恭子事務局長、右から 3 番目)と、現地で政府との仲介・調整に尽力された LJTD 社(左側)一同は治安維持省にて歓迎を受けた。</p>	
<p>2 寄贈式に備え、意見交換を行った(奥が日本側)。後ろのボードには治安維持省の階級序列が顔写真入りで分かりやすく掲載されている。今後の継続した消防車・救急車の支援要請も早速に受けた。</p>	

<p>3</p>	<p>引き渡し式は関係者・メディアなど大勢が参列した。</p>	
<p>4</p>	<p>横田順子駐ラオス日本国大使(左)とシンタヴォン・サイニャポーン副大臣(右)。</p>	
<p>5</p>	<p>並べられた消防車を前に握手を交わす日本側(左側)と治安維持省側(右側)。</p>	

Photo 2

<p>6</p>	<p>日本外交協会の寺田事務局長(左)より、兵站総局次長ワントン・パンニャマハーサイ大佐(右)へ車両キーを渡す</p>	
<p>7</p>	<p>サイニャポーン副大臣より個々に感謝状を手渡された。</p>	
<p>8</p>	<p>視察(1) ビエンチャン中央消防署に配備されているはしご車(中国製)と指揮車。首都のビエンチャンには全部で 18 台の消防車があるが、20 年以上経過してもまだまだ現役で活用されているものがある。</p>	

Photo 3

<p>9</p>	<p>視察(2) 1989 年に日本の ODA により新車で寄贈された水槽車。外装部に装備品等の資機材が少ない車両だが、今回寄贈された 7 台には資機材も多く積載されていたため、大変喜ばれた。</p>	
<p>10</p>	<p>視察(3) 首都ビエンチャンの消防本部に所属する大型のタンク車。この車両も同様に日本の ODA により新車で寄贈されたが、現在もメンテナンスをして主力車両として活躍している。中国製に比べ長持ちするため、日本車には信頼が高い。</p>	